

I 令和7年度 事業報告書

第1 事業の概要

令和7年度は、外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、千葉市からの受託事業を引き続き実施するとともに、協会による各種自主事業を展開した。詳細については、以下のとおりである。

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

多文化理解推進事業では、青少年交流事業としてアメリカ・ヒューストン市への派遣及びカナダ・ノースバンクーバー市への派遣及び受入を実施した。また、日本語を学んでいる外国人市民がその成果を発表する場として日本語交流会を開催したほか、ハロウィンをテーマとした国際交流パーティーや、外国出身の市民を講師に招き、日本人市民と共に現地の料理を作ることにより他国文化等への理解を深めるための講座を実施した。

(2) 外国人市民支援事業

外国人市民支援事業では、協会職員による生活相談事業や、弁護士による法律相談事業、市内の大学に通う市内在住の留学生による外国人市民の活躍機会や地域との交流機会の創出を目的とした事業、外国人市民の防災に対する知識・意識向上のための啓発を行う事業等を実施した。

(3) 市民活動支援事業

市民活動支援事業では、ボランティアの登録及びコーディネートをする事業、高い言語能力等の資質を備えた「コミュニティ通訳・翻訳サポーター」を行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援をする事業、国際交流・国際協力活動をしているボランティア団体への助成事業等を実施した。

なお、事務局として「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の開催支援を行う事業については、開催日の早朝に大雪警報が発令されたことから、安全確保を最優先とするため、開催を中止した。

(4) 情報収集・提供及び調査

情報収集・提供及び調査では、協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等をインターネットを通じて幅広く発信する事業、協会情報誌「ふれあい」を発行する事業、外国人向けに千葉市の生活情報を提供する事業等を実施した。

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業

千葉市からの受託事業として、国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を実施したほか、千葉市が令和2年度に策定した「千葉市地域日本語教育推進計画」に基づいて「生活者としての外国人」の日本語教育・日本語学習支援に係る取組みを総合的に進めることを目的とした「地域日本語教育推進事業」を実施した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

日本人市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることのできる場を設け、多文化理解の推進を図った。

(単位：人)

イベント名等	開催日	内 容 会 場	参加者 () 内外国人
七夕の文化紹介 及び飾り付け	6月23日 ～ 7月8日	日本の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と一緒に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	65(不明)
日本語交流会	10月18日	国際交流プラザや千葉市内の日本語教室等で日本語を学んでいる外国にルーツをもつ9人が日本語によるスピーチを行ったほか、アカペラで歌を披露した。 国際交流プラザ	81(21)
国際交流ハロウィンパーティー	10月31日	日本人と外国人が気軽に交流できる場の提供、オープンな場所での国際交流(交流会)を目的として、ハロウィンをテーマに、千葉市との共催で開催した。 市民ヴォイド(市役所1階)	200(40)
国際理解講座 「食でつながる世界～遠い異国イランの家庭料理を作って楽しみましょう」	1月25日	イラン出身の外国人市民を講師に迎え、参加者とともにイラン料理を調理し、食事を楽しみながらイラン文化の紹介を行うことで、参加者同士の交流を深める事業を、都賀公民館との共催により開催した。 都賀公民館	15(1)

イ 青少年交流(市補助)

姉妹・友好都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、毎年度、夏休み期間を利用して派遣及び受入を実施している。

令和7年度は、カナダ・ノースバンクーバー市から高校生の派遣生の受入れと千葉市からの高校生の派遣を実施したほか、アメリカ・ヒューストン市からの中学生を受け入れた。

(単位：人)

姉妹・友好都市	期間・実施日・内容	人数
アメリカ ヒューストン市 (39回目)	【受入】 6月2日～14日 千葉市立轟町中学校に通う生徒の家庭にホームステイしながら、轟町中での授業体験、市長・議長・教育長への表敬訪問の他、市内施設見学や日本文化体験等を行った。 ＜主な滞在スケジュール＞ ・轟町中学校で授業等の学校生活体験 ・市長・議長・教育長表敬訪問 ・寺院での座禅体験 ・千葉都市モノレール車両基地見学	【受入】 中学生4 引率者3
カナダ ノース バンクーバー市 (52回目)	【派遣】 8月4日～23日 ノースバンクーバー市長表敬訪問、市内見学、キャンプ、鮭養殖場見学、漁村博物館等の見学、ウィスラー山旅行、日本文化（茶道）の紹介等 ＜派遣生の研究テーマ＞ ・市民とスポーツの関わり ・カナダと日本の犬猫の飼育環境の比較 ・バンクーバーは住みやすい都市なのか ・カナダと日本の学校教育の違いについて ＜引率者＞ 市立中学校 教諭	【派遣】 高校生4 引率者1
	【受入】 8月5日～21日 前年度にノースバンクーバー市に派遣した千葉市の派遣生と共に、市内施設見学や千葉市の歴史学習、日本文化体験等を通して、異文化理解を深めるとともに、市民との交流を図った。 ＜主な滞在スケジュール＞ ・市長・議長表敬訪問 ・鍛刀場見学、向こう槌体験 ・相撲部屋 朝稽古見学、取り組み体験 ・親子三代夏祭り（神輿体験・千葉おどり参加） ・千葉都市モノレール車両基地見学 ・日本文化体験 千葉郷土料理「太巻き祭り寿司」づくり、豆腐づくり、座禅、写経、居合、和太鼓体験 ・千葉中央ライオンズクラブ納涼会 三味線の演奏体験	【受入】 高校生4 引率者1

ウ 語学講座

国際交流ボランティアの活動支援を行うとともに、当該ボランティアの育成を図り、多文化理解を推進するため、ボランティア及び賛助会員を対象に語学サロン（英語、ベトナム語、アイルランド語）を実施した。

（単位：人）

講座名（会場）	期間	時間等	講師	人数
初級英語サロン （国際交流プラザ）	6月4日～7月16日	2時間×6日	【市職員】 ケイティ セクストン	17
はじめてのベトナム語 （国際交流プラザ）	6月6日～7月11日	2時間×5日	【協会職員】 グエン ゴック ハン	7
はじめてのアイルランド語 （国際交流プラザ）	12月3日～12月17日	2時間×3日	【市職員】 ケイティ セクストン	17

エ 多文化共生推進

（ア）各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等の地域との連携を図り事業を実施したほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとしての参加等により多文化共生社会実現に向けた取組みを進めた。

<多文化共生の啓発>

名称	開催日	場所	内容
生活オリエンテーション	4月11日	中央区内	技能実習生の監理団体からの依頼により、中国及びインドネシアからの技能実習生に対して、日本で生活する上での留意点等を説明するオリエンテーションを行った。
	8月20日	稲毛区内	稲毛区内の事業所にて、千葉北警察署の職員と共に、インドネシアからの技能実習生に対して、日本で生活する上での留意点等を説明するオリエンテーションを行った。
	10月9日	美浜区内	技能実習生の監理団体からの依頼により、中国及びインドネシアからの技能実習生に対して、日本で生活する上での留意点等を説明するオリエンテーションを行った。
	11月27日	美浜区内	技能実習生の監理団体からの依頼により、中国及びインドネシアからの技能実習生に対して、日本で生活する上での留意点等を説明するオリエンテーションを行った。
	1月28日	美浜区内	NPO 法人関東日中友好交流促進会が開催した外国人相談会に出席し、日本で生活する

			上での留意点等を説明するオリエンテーションを行った。
筑波大学インタビュー 対応	5月26日 5月29日	国際交流プラザ	韓国及び中国からの留学生からの残留邦人への支援や地域住民との連携に対するインタビューに対応した。
敬愛学園高校インタビュー 対応	8月8日	国際交流プラザ	外国人生活相談に寄せられる相談内容等に対するインタビューに対応した。
千葉県立保健医療大学 インタビュー対応	9月17日	国際交流プラザ	看護学科の学生8人及び准教授からの医療に係る相談事例等に対するインタビューに対応した。
千葉大学大学院インタ ビュー対応	10月21日	国際交流プラザ	精神的な健康状態に関する在日外国人へのアンケートの実施方法についての相談対応を行った。
千葉大学インタビュー 対応	10月24日	国際交流プラザ	やさしい日本語と多言語への翻訳の使い分けに対する情報提供の実態と課題に対するインタビューに対応をした。
淑徳大学インタビュー 対応	11月19日	国際交流プラザ	「外国ルーツの児童の学びと生活を支える情報保障の工夫」とテーマとした卒業論文に対するインタビュー対応をした。
大家さん・不動産店の ための居住支援セミ ナー	2月2日	千葉市役所	千葉市居住支援協議会（事務局：千葉市住宅供給公社）が主催したセミナーで、協会の事業紹介等を行った。

<千葉市やその他団体との連携>

名称	開催日	場所	内容
千葉東警察署協議会	6月26日 9月25日 12月22日 2月10日	千葉東警察署	千葉東警察署協議会の委員に任命された職員が会議に出席し、諮問事項について業務を通じて得た知見等の意見を回答した。
千葉市多文化共生推進 ネットワーク会議	7月30日 1月28日	千葉市役所	地域の多文化共生に関わる様々な活動主体が連携、相互に情報交換を行い、課題解決に向かって協働する体制を構築するために設置されたネットワークの会議に委員として出席した。
ちば地域多文化共生円 卓会議	8月23日	千葉大学 西千 葉キャンパス	「NPO 法人多文化フリースクールちば」が「外国につながるこども若者の居場所とことば」をテーマとして開催した会議に出席し、意見交換等を行った。

千葉市自立促進ケア会議	8月27日	稲毛保健福祉センター	外国人高齢者の介護で課題となる言葉の壁等に対してコミュニティ通訳・翻訳サポーターの活動事例等の情報提供を行った。
千葉県多文化共生社会づくり連絡協議会	10月	書面	千葉県国際課が千葉県における多文化共生社会の推進を図るために設置している協議会において、書面により情報共有等を行った。
やさしい日本語講座	10月23日 10月24日 11月27日	千葉東警察署	千葉東警察署からの依頼により、警察職員を対象として、やさしい日本語の活用を啓発する講義を行った
法テラス千葉地方協議会	11月28日	法テラスちば（きばー内）	法テラスの業務内容や弁護士による外国人支援の事例等の情報収集を行った。
9 都県市外国人相談企画研究会	1月23日	オンライン	大都市圏に共通する外国人相談の諸問題を研究討議し外国人相談事業の有効的な運営をはかることを目的に、地域内の自治体及び地域国際化協会で構成された研究会に出席し、意見交換等を行った。
8 市国際交流協会等連絡協議会	2月10日	船橋市職員研修所	千葉県内の国際交流協会が会し、団体運営や事業実施についての情報交換や意見交換を行った。
関東地域国際化協会連絡協議会	2月26日	オンライン	関東・甲信地域の地域国際化協会が相互に協力、連携して、地域における国際交流及び国際協力の推進を図ることを目的とした会合に出席し、意見交換等を行った。 幹事：（公財）長野県国際化協会
千葉市生涯学習センター 学習相談員専門研修	2月26日	国際交流プラザ	千葉市生涯学習センターからの依頼により、学習相談員を対象として、協会の事業紹介等を行った。
千葉市自立促進ケア会議	3月11日	稲毛保健福祉センター	専門的な視点を活かした高齢者の自立支援の促進と事例検討等を目的として開催された会議に出席し、意見交換等を行った。

<協会事業のPR・ボランティアの獲得>

名称	開催日	場所	内容
「春からはじめるボランティア！身近な5施設活用術」	5月24日	市生涯学習センター	千葉市生涯学習センターがボランティア活動に関心を持つ市民向けに開催したイベントに講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。

多文化ふれあいフェスタ in 千葉幸町団地	6 月 21 日	千葉幸町団地内	UR 都市機構が、千葉市や千葉県警、地域住民との連携を深めながら、地域における共生の推進を図ることを目的として開催したイベントに参加し、協会事業の PR 等を行った。
CMB ダサイン&国際交流フェスティバル	10 月 2 日	中央公園	外国人留学生が多く在籍している千葉モードビジネス専門学校が開催したイベントにブースを出展し、協会事業の PR や防災に関する啓発等を行った。
生涯学習ボランティアフェア	11 月 15 日 ～ 11 月 24 日	生涯学習センター	千葉市生涯学習センターが市民のボランティア活動や生涯学習への関心を広めることを目的に開催したイベントに協会のボランティア制度や活動についてのパネル展示を行った。
千葉大学ユニバーサルフェスティバル	12 月 11 日	千葉大学 けやき会館	千葉大学の国際教育センターが開催したイベントに参加し、協会事業の PR や情報交換等を行った。
ちばし地域づくり大学校講座	12 月 17 日 12 月 23 日	千葉市役所	ちばし地域づくり大学校が地域活動を始めたい市民向けに開催した講座に講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。
千葉市生活自立・仕事相談センター6 区合同研修	1 月 30 日	きぼーる	千葉市から生活困窮者自立支援事業を受託している千葉市生活自立支援・仕事相談センター花見川及び若葉からの依頼を受けて、外国人市民に対する支援の事例紹介等を行った。

<研修・セミナー等出席>

名称	開催日	場所	内容
外国人相談窓口連絡会	5 月 30 日	オンライン	東京出入国管理局が主催した相談員向けの研修会に参加し、参加団体による事例紹介や意見交換等を行った。
国民年金制度に関する研修	6 月 23 日 6 月 24 日	国際交流プラザ	千葉年金事務所の職員を招聘し、協会職員向けに外国人市民から多く寄せられる質問等についての説明会を開催した。
入管職員による在留資格等に関する研修	7 月 10 日	オンライン	(公財)ちば国際コンベンションビューローが在留資格や育成就労制度等の知識習得のため開催した研修に参加し、協会職員の資

			質向上に努めた。
在日外国人サポート ネットワーク勉強会	8月7日 2月18日	オンライン	NPO 法人在日ブラジル人を支援する会が、 東京出入国在留管理局の職員を講師として 開催した勉強会に出席し、改正入管法や公 的年金制度について学んだ。
地域国際化協会職員国 内研修	11月12日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した研修 に参加し、地域国際化協会におけるボラン ティアコーディネーションについて学んだ。
多文化共生の担い手連 携促進研修会	11月26日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した研修 に参加し、「自分には関係ない」という壁 を越え、関心を寄せてもらうために、どの ようにアプローチしたら良いのか等につい て学んだ。
多文化 Opinion Exchange	1月9日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した研修 に参加し、日本での出産と子育てをテーマ とした事例発表やパネルディスカッション を通じて、職員の資質向上に努めた。
配偶者暴力関連スー パービジョン	1月29日	千葉市役所	千葉市こども家庭支援課が主催したDV被 害者からの相談に適切に対応し効果的な支 援が行えるよう実施された会合に参加し、 対応について学んだ。
外国人相談担当者意見 交換会	2月19日	オンライン	(公財)ちば国際コンベンションビューロー が、日本人と外国人の夫婦が離婚する時の 法的な問題点についての知識習得のため開 催した研修に参加し、協会職員の資質向上 に努めた。

(イ) 市及び公的機関からの文書等翻訳及び通訳

千葉市からの依頼に基づき、行政サービスに係る文書等の翻訳について、協会職員が多
種多様な内容の翻訳に対応した。同様に通訳の依頼についても対応した。

(単位：件)

翻訳言語	翻訳件数	主な内容	
英語	8	国際交流課	生活ガイドブック、ちば市民便利帳、避難行動
中国語	10		要支援者名簿、姉妹都市関係資料
韓国語	22	区政推進課	外国人住民のマイナンバーカード有効期限
スペイン語	16	健康支援課	妊婦のための支援給付金
ベトナム語	25	健康保険課	健康保険料口座振替案内、保険料所得申告
合計	81	こども企画課	「こどもの権利」リーフレット

		収集業務課	有害ごみの分別・処理
		住宅政策課	団地住み替え支援事業リーフレット
		保健体育課	歯と口腔内の健康に関するプリント
		文化財課	千葉市郷土博物館の展示表記・解説文 他

(単位：件)

通訳言語	通訳件数	主な内容
英語	5	国際交流課
中国語	3	メルセデス・ベンツ・ハイパワー・チャージング日本合同会社
韓国語	1	CEO 市長表敬訪問
スペイン語	1	韓国・全羅南道 市郡議会議長協議会訪問
合計	10	江蘇省訪日団による千葉市長表敬訪問
		西部児童相談所
		外国人家庭訪問
		消防局救急課
		台湾研修団への通訳派遣
		千葉商工会議所
		在アルバニア日本商工会議所・アルバニア共和国大使館表敬訪問

(2) 外国人市民支援事業

ア 外国人生活相談

多文化共生コンシェルジュや外国人生活相談員を配置し、言語や習慣の違いなどから生じる日常生活の悩み等について、外国人市民並びに日本人市民からの相談を窓口や電話で対応したほか、各区役所・保健福祉センターに配置されたタブレット端末を活用してオンラインによる相談を行った。そのほか、ロシアによるウクライナへの侵攻から逃れるために来日したウクライナ避難民を千葉市でも多数受け入れたことから、生活に必要な各種支援を行った。

(単位 件数：件、人数：人)

言語	方法	件数	人数
日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、ウクライナ語 等	協会窓口、電話、メール、LINE ほか	2,071	2,003

イ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

回数：24 回開催(うち平日昼 6 回、夜間 6 回、土曜日 12 回)

件数：40 件

ウ 外国人留学生交流員 (市補助)

市内大学に在籍する市内在住留学生 4 人を「千葉市外国人留学生交流員」に任命し、地域

社会と関わる機会を提供することにより、地域社会への理解を深めるとともに、地域住民との相互理解促進を図った。令和 6 年度に開始した町内自治会行事への参加を継続したほか、新たに千葉中央警察署からの依頼により各種行事に参加した。

< 千葉市外国人留学生交流員 >

在籍校	出身地	在籍校	出身地
千葉大学	タイ	神田外語大学	ミャンマー
敬愛大学	ベトナム	東京情報大学	中国

< 町内自治会関係 >

自治会名	活動内容
第 3 8 地区 (稲浜中学校区)	年間を通した行事運営支援 夏祭り(稲浜小地区)にて神輿交通整理、和太鼓体験、盆踊り参加、避難所開設訓練にて事前会議及び訓練への参加・協働 歩け歩け大会にて地域の歴史・変遷理解、住民交流に参加

< 警察関係 >

場所	活動内容
京成千葉駅周辺	少年非行・交通事故防止啓発活動(アナウンス・啓発グッズ配布等)
千葉県庁～中央公園	歳末パトロール(防犯ボランティア学生、千葉市中心市街地まちづくり協議会メンバーと犯罪防止の呼びかけ)
院内小学校	下校見守り・交通安全啓発活動

エ 災害時外国人市民支援

(7) 各種防災訓練への参加及び外国人のための防災訓練等

(単位：人)

名称	開催日	場所	参加者 () 内外国人
災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修	8 月 29 日	東京体育館	協会職員
九都県市合同防災訓練	8 月 31 日	イオンモール幕張新都心	28 (19)

(イ) 「避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定(平成 26 年 6 月 30 日)」に基づく事業

(ウ) 「千葉市災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定(令和 7 年 4 月 1 日締結)」に基づき災害に関する情報発信(津波、台風、大雨、大雪など)をホームページ及び SNS で行った。

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、ボランティアの登録・コーディネートを行った。

(単位 人数：人、件数：件)

内容	登録 人数	斡旋依頼 件数	活動 延べ人数	主な実績
通訳・翻訳	738	0	0	—
災害時語学	251	0	0	—
ホームステイ	131	1	16	千葉県姉妹都市カナダ・ノースバンクーバー 青少年交流事業 引率者受入家庭 (16 日間)
ホームビジット	201	0	0	—
文化紹介	307	1	1	都賀公民館共催「国際理解講座」講師
日本語学習支援	691	190	1, 295	1 対 1 日本語活動、初級クラス、グループ クラス、オンライン日本語交流クラス
国際交流支援	633	2	4	日本語交流会の司会、会場設営 等
合計	2, 952	194	1, 316	

イ コミュニティ通訳・翻訳サポーター (市補助)

高い言語能力等の資質を備えた通訳・翻訳ボランティアを「コミュニティ通訳・翻訳サポーター」として認定し、行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援を行った。

サポーターの認定にあたっては、対人援助適性、通訳技術、守秘義務、中立性などの行動規範等を学ぶ講座の受講を必須としたほか、医療現場や教育現場にて適切な支援をするための知識習得のための各種講座を開催した。

また、千葉県生活自立・仕事相談センター (花見川・若葉) 等の依頼に基づき、制度の紹介及び通訳事例の共有により、制度理解と周知を図った。

(ア) コミュニティ通訳・翻訳サポーター認定登録者

令和 7 年度は、新たにウズベク語、ダリー語、トルコ語、マレー語の 4 言語が増えたことで、通訳・翻訳合わせて合計 30 言語まで対応できる言語の幅が広がった。

また、新たな認定者の中には、医療従事者、医療通訳有資格者や保育士、障害児支援機関勤務者がおり、専門知識を有する登録者が更に増加したことで、医療や福祉など近年、外国人による通訳依頼が増加している専門性の高い分野においても、より行き届いた支援を行えるようになった。

令和 7 年度認定者数 45 人 (内外国出身者 23 人)

認定者総計 244 人 (内外国出身者 89 人)

<通訳> 51 件 登録言語数 21 言語 (認定者総計 258 件 登録言語数 29 言語)

<翻訳> 37 件 登録言語数 16 言語 (認定者総計 238 件 登録言語数 26 言語)

(イ) コミュニティ通訳サポーター養成講座の実施

(単位：人)

名称	開催日	内容	講師	人数
学校における通訳 養成講座 (オンライン)	11 月 22 日	講義（学校での通訳の 役割、通訳技術）、グ ループワーク 等	(一社) 日本公共通訳支援協会 代表理事 西村 明夫 氏	55
医療通訳 養成講座 (オンライン)	11 月 29 日	講義（医療通訳の基礎 知識、通訳技術）、通訳 演習、グループワーク 等	特定非営利活動法人多言語社会 リソースかながわ 通訳スタッフ 鈴木 万里子 氏	50

(ウ) 活動実績

<通訳>

(単位：件)

分野	言語	活動件数	内 容
医療	中国語、英語、ロシア語、ウルドゥー 語、ネパール語、ベンガル語	54	小児科（乳児健診、就学前健診、予 防接種等）、婦人科（妊婦健診、乳 がん手術後ケア等）、がん検診、歯 科検診、消化器検査（内視鏡等）、 眼科、耳鼻咽喉科、整形外科心療内 科、精神科受診 他
教育	中国語、英語、スペイン語、ロシア語、 ネパール語、タガログ語、ベトナム語、 ペルシャ語、ミャンマー語	45	市内各小学校・中学校・高等学校で の入学説明会、三者面談、進路相談、 公立夜間中学校ガイダンス・施設見 学、特別支援学級進路・就職相談・産 業実習現場での通訳 他
行政	英語、タガログ語、中国語、ベトナム 語、タイ語、ネパール語、スペイン語、 ロシア語、モンゴル語	34	住宅入居説明、児童相談所面談、市 民総合窓口手続き（転入出届、児童 扶養手当申請等）、年金手続き 他
健康 福祉	英語、中国語、タイ語、タガログ語、 ロシア語	27	療育センター（発達検査、入所説明、 面談、契約・カリキュラム説明等）、 生活自立仕事相談センター（家計相 談、住まい相談等）、保健福祉セン ター（療育手帳・障害者手帳申請、介 護認定）、千葉市あんしんケアセン

			ター（介護保険サービス、支援計画、認定調査、施設入所、認知症サポーター養成講座）他
子育て	英語、中国語、ミャンマー語、フランス語、ベンガル語	21	入所・入園手続き、保育所説明会・懇談会、児童扶養手当申請 他
各種相談	中国語、タガログ語、スペイン語、英語	9	法律相談、住まい相談・手続き 他
税金	英語	2	千葉東税務署にて確定申告手続き、引っ越しに伴う所得税申告手続き 他
合計		192	

<翻訳>

(単位：件)

分野	言語	活動件数	内容
行政	タガログ語、インドネシア語、ネパール語、シンハラ語、中国語、ポルトガル語、英語、韓国語、タイ語、ミャンマー語	42	国勢調査関係資料、家庭ごみと資源ごみの出し方一覧表、住民票、国民健康保険制度概要書、児童扶養手当申請関係書類、マイナンバーカード関係資料、児童相談所資料、健康保険料未納通知 他
健康福祉	英語、中国語、ミャンマー語	14	療育センター施設利用説明書、事業所説明会資料、認知症説明資料 他
子育て	英語、中国語、シンハラ語、ミャンマー語、ネパール語、ベトナム語、ベンガル語、モンゴル語	18	保育所等利用申請書類、発達記録、離乳食準備説明資料、保育所利用のしおり、教育・保育給付認定申請書兼施設（事業）利用申請書、保護者宛お便り、 他
教育	中国語	13	養護学校 入学説明会資料 他
医療	アラビア語、タガログ語、中国語、ポルトガル語	8	総合病院 宗教上禁止されている食品、医薬品等の確認フロー 他
合計		95	

ウ 国際交流ボランティア・リーダー会議

(ア) 通訳ボランティア・リーダー会議

自主学習グループのリーダー等による活動報告や課題を共有した。令和7年度は新たに、通訳活動グループの通訳リソースの活用を図るため、認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわの教育相談員を講師とした「学校教育現場における多国籍化の現状」に関する講

座を開催し、更なる市民活動活性化を模索した。

(単位：団体)

開催日	内容	団体名	団体数
1月24日	活動報告、課題検討、千葉市における外国人住民等の現状の共有	英語 CCES、CCEIV、CHIEV02017 中国語 如家会 スペイン語 千葉市 AMIGO 会	5

(単位：人)

開催日	内容	講師	人数
3月7日	講義「学校現場における通訳の役割」 学校教育現場における多国籍化に関する現状・課題、求められる通訳ボランティアの役割 演習 事例グループワーク、模擬通訳演習	認定 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ 教育相談員 三木 紅虹 氏	14

(イ) 自主学習グループへの通訳ボランティア活動及び勉強会への支援

自主学習グループとして、下記2分野で継続して独自に活動を展開している各通訳団体について、協会は引き続き情報提供、広報支援、専門機関との連携などの支援を通して、市民活動促進を図った。

(活動分野)

- ・医療通訳勉強会を含む外国人市民等への通訳支援活動
- ・異文化理解活動

エ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成した。

(単位：円)

	団体名	事業名	助成額
1	土曜学級	土曜学級（外国につながる児童生徒のための日本語学習支援事業）	155,640
2	みどり土曜にほんご学級	みどり土曜にほんご学級	200,000
3	センシティ土曜にほんご学級	外国に繋がる子ども達への日本語・教科支援及び居場所作り	320,000
4	美浜こどもにほんご教室	美浜こどもにほんご教室 開催	160,000
5	NPO 法人多文化フリースクールちば	学齢期を超過した外国につながる生徒への高校進学サポート事業	320,000
6	ちば夜間中学をつくる会	ちば自主夜間中学運営	316,740
7	千葉市 JSL 児童・生徒支援の会	外国につながる児童・生徒のための日本語学	200,000

		習支援事業	
8	花見川土曜にほんご教室	外国人日本語支援事業	143,500
9	国際交流せいかつ日本語みはま会	国際交流せいかつ日本語みはま会 開催	100,000
10	日本語会話サークル小中台	外国人市民支援事業	100,000
合計			2,015,880

オ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

千葉市役所の1階市民ヴォイド・まちかど広場を会場とし、2月8日に「ちば市国際ふれあいフェスティバル 2026」を開催予定であったが、開催日早朝に大雪警報が発令されたことから、主催者、出演者、出店者及び来場者の安全確保を最優先とするため、開催を中止した。

(4) 情報収集・提供及び調査

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。この発信に Facebook 及び LINE を併用することで、情報の提供頻度・量の充実を図った。

内容	時期
協会事業、生活情報、イベント情報、日本語教室、災害情報 等 (自動翻訳により 100 言語以上に対応)	通年

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌「ふれあい」を発行した。

(単位：部)

内容	発行時期	部数	配布先等
「ふれあい」発行 114～116 号	8 月、12 月、3 月 (年 3 回発行)	各回 3,000	賛助会員、市内公共施設、ホームページへの掲載等

ウ 千葉市の生活情報提供

外国人市民に対し、ちば市政だよりを始めとする有益な生活情報を、外国人のための「ちば市政だより」として、協会ホームページに毎月掲載し、自動翻訳機能を活用して提供を実施した。

エ 情報ラウンジ

協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報を提供した。また、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。

内容	時期	場所
国際交流・国際協力などに関する関係資料の配架等	通年	国際交流プラザ
ふれあいボード（市民間情報交換用掲示板）		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業の実施

ア 国際交流プラザ運營業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運營業務を実施した。

施設利用状況（開館日数 291 日）

（単位 件数：件、人数：人）

	会議室	日本語学習スペース、カウンター					合計
		日本語交流活動	外国人相談	窓口対応	その他	小計	
件数	75	807	2,071	816	958	4,652	4,727
人数	4,432	1,614	2,003	816	958	5,391	9,823

イ 地域日本語教育推進事業

(7) 千葉市地域日本語教育推進会議

開催日	議題及び検討内容
7月29日	座長・副座長選出 令和7年度事業経過報告 令和3～7年度事業振り返り 第2次千葉市地域日本語教育推進計画骨子案検討
9月24日	第2次千葉市地域日本語教育推進計画骨子案説明 令和8年度事業方向性検討
2月17日	令和7年度事業報告 第2次千葉市地域日本語教育推進計画最終案説明 令和8年度事業計画説明
推進委員 (順不同)	千葉大学 新倉涼子 神田外語大学 徳永あかね 双葉外語学校 小川早苗 千葉モードビジネス専門学校 宮下雅美 千葉商工会議所 経営支援部経営支援課 江川園美 ほっとスペース稲毛ペコリーノ 前原寛和 博興建設株式会社 佐藤茂 ベイタウン日本語教室 堀康二 美浜こどもにほんご教室 小林稔子

	千葉市教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習振興課 志保澤剛 公益財団法人千葉市教育振興財団 公民館管理室 中村文香 生活者 三浦テュイ 生活者 玄香花 千葉市 市民局市民自治推進部国際交流課 寺井隆 千葉市教育委員会事務局 学校教育部教育指導課 小石伸一 NPO 法人多文化フリースクールちば 三橋千恵子
--	--

(イ) コーディネーターの配置

職名	業務内容	氏名
総括 コーディネーター	総合的な企画・調整・支援、教育プログラムの策定、事業推進のための大学・企業・NPO・日本語教室の活動状況把握やネットワーク促進	萬浪絵理 鈴木恵美子
地域日本語教育 コーディネーター	教育プログラムの策定、事業推進のための日本語クラスや研修の企画・運営・コーディネート	田中久美 中村香理

(ウ) 1対1日本語活動(マッチング：95組、807回活動)

外国人市民の社会参加、日本語学習の促進、日本人市民との相互理解の促進を図るために、日本語学習支援ボランティアを日本語交流員、外国人学習者を外国人参加者とし、日本語の習得だけでなく、日本語を使ってコミュニケーションする力が向上するよう、国際交流プラザでの対話形式もしくはオンラインを利用した日本語活動を行った。

(エ) 各種日本語クラス

(単位：人)

名 称	開 催 日	参加者	回数等	講師（敬称略）
初級クラス1	5月12日～9月25日 10月10日～2月13日	132 102	2時間×30回 2時間×30回	天野伸子、片岡由里子、中村香理、山田美穂
初級クラス2	5月13日～8月1日	132	2時間×20回	片岡由里子、山田美穂
グループクラス	6月4日～9月17日 6月14日～9月27日 6月3日～9月16日 10月15日～1月28日 10月25日～2月7日 10月14日～1月27日	422 412 192 372 322 232	2時間×12回 2時間×12回 2時間×12回 2時間×12回 2時間×12回 2時間×12回	天野伸子、片岡由里子、田中久美、中村香理、西村海音、山田美穂
オンライン 日本語交流クラス	4月10日～5月1日 2月5日～2月26日 3月5日～3月26日	71 141 71	1時間×4回 1時間×4回 1時間×4回	ファシリテーター 天野伸子、杉崎聖子、田中久美、中村香理

(オ) オンデマンド学習プログラム開発・運用

日本語を学ぶ外国人等が、場所や時間を問わずにオンデマンドで行えるよう、社会生活に役立つ「千葉市日本語学習プログラム」レベル2を開発し、レベル1・レベル2を運用した。

(カ) やさしい日本語研修

外国人等の日本語習得を促進し、相互理解のための資質を養うため、外国人住民や職員が多い学校や地域団体等向けに「やさしい日本語」「多文化理解」研修を実施した。

(単位：人)

開催日	会場	人数	講師（敬称略）
7月18日	オンライン	31	中村香理
8月1日	千葉大学	28	中村香理
9月20日	花見川団地内	未集計	田中久美
2月21日	千城台公民館	4	中村香理

(キ) 地域日本語教室への運営支援

市内日本語教室・支援団体の内、研修を希望した3団体に対し出張研修を実施した。

(単位：人)

開催日	教室名	会場	人数	講師（敬称略）
11月15日	美浜こども日本語学級	美浜保健福祉センター	17	安齋洋一
11月22日	みどり土曜にほんご学級	緑保健福祉センター	13	時原千恵子
12月20日	千葉市JSL児童生徒支援の会	国際交流プラザ	24	志村ゆかり

(ク) 日本語サロン立ち上げ支援

日本語交流員有志で実施する日本語サロンの立ち上げの支援を行った。

(単位：人)

開催日	内容	会場	人数	講師（敬称略）
1月17日	講座 「地域の多文化化の状況・コミュニケーションの工夫」	花見川 団地内	33	新居みどり
1月24日	講座 「ご近所さんとしての付き合い」			萬浪絵理
1月31日 2月7日 2月21日	交流会			—

(ケ) 多文化ウェルカム団体紹介

外国人市民等多様な言語・文化を背景にもつ人々を仲間として歓迎する外国人市民が参加しやすい環境が整っているサークルや地域団体を8団体、紹介した。

(コ) 企業支援

外国人従業員を雇用する事業所へ、職場内の円滑なコミュニケーションや日本語教育

に関する情報提供を目的として、当該事業所の希望に応じで出張支援を行った。

(単位：社)

実施時期	実施社数
12月～2月	6

(㏐) 情報交換会・意見交換会の実施

(㏑)に記載の「地域日本語教育推進事業シンポジウム」の第2部として情報交換会を実施した。

(㏒) 日本語学習アドバイジング

日本語学習希望者の相談に対応し、相談者の希望やライフステージに鑑み、戦略的に日本語を身につけられるよう、学習方法や学習素材、学習機会等をアドバイスした。

(㏓) 日本語教育啓発のためのパンフレット・ポスター等公開・配布

現在や近い未来だけでなく先々を見据えて日本語を学ぶ重要性を外国人市民に啓発するため、外国人市民向け啓発資料を公開・配布した。

(㏔) 日本語交流つなぎて講座

多様な言語・文化を背景にもつ市民同士がともにくらし、ともにまなぶ多文化共生の地域づくりの担い手を増やすため、地域の多文化化の状況や多様な人々との共生や伝わりやすいコミュニケーションについて学ぶ講座を実施した。

また、活動の場や学習教材についても取り入れ、修了後の活動につながるような内容とした。

(単位：人)

開催日	参加者	回数等	講師（敬称略）
6月14日～7月12日	23	2時間×5回	徳永あかね、萬浪絵理、田中久美、中村香理
11月8日～12月6日	24	2時間×5回	

(㏕) 日本語交流員フォローアップ講座

活動している日本語交流員を対象に、「実際に活動する際のヒント」「活動のふりかえり」等を通して活動に関する相談やアドバイスをを行った。

(単位：人)

開催日	参加者	テーマ	講師（敬称略）
7月19日	29	にほんご×地域防災 多文化防災ワークショップ語りを聴く	菊池哲佳
11月26日	16	語りを聴く	外国出身ゲストスピーカー3人
2月4日	27	紙芝居でラーニング～第二言語習得における主体的・対話的・協働的学び	片岡由里子

(㏖) 日本語交流員説明会

1対1日本語活動や日本語クラスの特徴や活動方法を理解した上で活動に参加してもら

うため説明会を開催した。

(単位：人)

開催日	参加者
5月17日	9
7月5日	22
11月29日	22

(f) 事業報告リーフレットの作成・配布

(ツ) カリキュラム整備

B1 レベルの日本語教育プログラムのカリキュラム整備（調査・検討・開発・サンプル教材の作成・試行）を実施した。

(テ) 地域日本語教育推進事業シンポジウム

令和3年度からの千葉市地域日本語教育推進計画(5か年)の最終年度に当たり、これまでの事業成果の発信・普及のためのシンポジウム「外国につながる市民とのコミュニケーションを支える千葉市地域日本語教育推進～5か年とこれから」を実施した。

(単位：人)

開催日	内容、会場	登壇者（敬称略、順不同）	参加者
3月11日	第1部 事業報告 基調講演 パネルトーク 第2部 情報交換会 千葉市役所 正庁	<講演> 武蔵野大学 神吉宇一 <モデレーター> 武蔵野大学 神吉宇一 <パネリスト> 千葉大学 新倉涼子 神田外語大学 徳永あかね ベイタウン日本語教室 堀康二 生活者 玄香花 千葉市国際交流課 寺井隆 総括コーディネーター 萬浪絵理	85
3月9日 ～ 3月14日	パネル展示 千葉市役所 市民ヴォイド		-

第3 賛助会員（令和8年3月末現在）

(単位 個人：人、法人・団体：団体)

区分	合計
個人	186
法人・団体	53

第4 公式訪問団への参加

千葉市が、カナダ・ノースバンクーバー市及びアメリカ・ヒューストン市との間に、これまで培ってきた友好関係をさらに発展させ、交流を一層促進することを目的に、市長・議長等で結成する公式訪問団が訪問するにあたり、千葉市長から当協会理事長に対して、参加の依頼があった。

これを受けて、令和7年度第5回理事会を書面により開催し、理事全員の同意を得た上で、参加した。

1 訪問期間

令和7年10月19日～10月25日（6泊7日 機内泊1泊を含む）

2 公式訪問団（22人）

千葉市長 神谷 俊一

千葉市議会 議長 松坂 吉則

千葉市職員 7人

千葉市議会議員 3人

千葉商工会議所 6人

千葉中央ライオンズクラブ 3人

公益財団法人千葉市国際交流協会 理事長 津村 昭太郎

3 両市と協会との関係

協会設立時の平成7年度から継続して、両市間で青少年交流事業を行っている。